

哲學研究

第四十七卷 第一册

第五百四十三號

昭和五十六年十一月二十日發行

隨眠と帰属の理論……………山内得立

論評と構築とのあひだ……………酒井修

物理学と宇宙論における最近の試み……………佐藤文隆

——統一ゲージ理論と力の法則の相対化——

カントにおける最高善の
実践的必然性に関する一試論……………北岡武司

書評 *Friedrich-Wilhelm von Herrmann:
Heideggers Philosophie der Kunst*

……………加藤哲弘

彙報

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓（會誌四冊分を含む）を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

池田秀三	伊藤邦武	上田閑照	梶山雄一	木曾好能	酒井修平	佐々木丞三	清水善一	竹原創一	辻村公郎	中谷久	西谷裕	長谷正	服部正	平野明	藤澤令	宝月誠	水垣治	本吉良	森口美	山田都	吉田男	岡田健二	郎
------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	---

前 号 目 次

- 記憶の二過程……………平野俊二
- アリストテレスにおける個別と
普遍……………浅野樞英
- 『形而上学』M卷一〇章の問題
を中心として——
- 直観と綜合……………岡村信孝
- T・パーソンズにおける「合議制的
アソシエーション」と
「専門職」をめぐる……………溝部明男
- 故タルコット・パーソンズ教授を偲ぶ——

次 号 論 文 予 告

- 随眠と帰属の理論（承前）……………山内得立
- デカルトの自由意志論……………西村嘉彦
- 相互作用論から見たキャリア分析……………宝月 誠
- 『ジャック・ローラー』の解釈
の試み——
- ヘーゲルの啓示宗教論……………氷見 潔
- 『精神現象学』における——

業をさらに困難なものにしているように思われる。「芸術」という概念が『根源』においてどのような扱われ方をしているのかを確実に把握するためには、むしろ同時代の著作で芸術を扱ったものを、もっと積極的に参照すべきではなからうか。そうすれば、たとえば講義『ニーチェ』や『形而上学入門』等との関連の中で、芸術概念がもっと掘り下げられた形で把握されるように思われる。

ただ、私としてはこうした難点に目を向けるよりも、むしろ本書の、註釈書としてのすぐれた価値を積極的に評価すべきだと思う。確かに著者による解釈は特に目新しいものではない。しかしこの解釈は、これまで未公開であった様々な資料によって裏付けられたものであり、それだけ読者に信頼感を与えるものである。著者は、『存在と時間』との関連を一つ一つ丁寧に確認してゆきながら、事象へのハイデガー独自の接近の姿を丹念に記述している。ハイデガー全集が着々と公刊されている今、本書は、彼の芸術論を見直そうとする者にとって不可欠の基本的な文献になるであろう。

尚、著者は現在フライブルク大学哲学第一講座所属の教授である。主な著作には、他に *Die Selbstinterpretation M. Heideggers* (1964), *Bewusstsein, Zeit und Weltverständnis* (1971), *Husserl und die Meditationen des Descartes* (1971), *Subjekt und Dasein. Interpretationen zu "Sein und Zeit"* (1974) がある。

(丁)

(筆者 かとう・てつひろ 京都大学文学部〔美学〕研修員)

前号(五四二号)の誤植訂正

誤 正

四〇頁十九行 『形而上学』乙巻 『形而上学』乙巻
一〇三頁十一行 輯報告 編輯報告

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けませんが、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌四冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和五十六年十一月十五日 印刷
昭和五十六年十一月二十日 發行

編輯兼 京都大學文學部内
發行人 京 都 哲 學 會
編輯代表 酒 井 修
編輯担当 伊 藤 邦 武

賣捌所 株式會社 創 文 社

久保井理津男
東京都千代田區一番町一七番地
振替口座 東京二一九二四七二
電話東京二六三三七〇（代表）
印刷所 曉印刷株式會社
東京都文京區関口一二四一八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御注文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、定價九〇〇圓、送料・六〇圓）前金にてお送り下さい

昭和五十六年十一月二十五日發行

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLVII

November 1981

No. 1

Articles

Anusaya und die Theorie der Zurechnung

.....Tokuryu Yamauchi

Von der Kritik bis zum systematischen Aufbau

— *Eine Untersuchung über die Jenaer Zeit Hegels*

.....Osamu Sakai

Unified Gauge Theory and Relativism on the Law of Forces

.....Fumitaka Sato

*Über die praktische Notwendigkeit des höchsten Guts
bei Kant*

.....Takeshi Kitaoka

Book Review

Friedrich-Wilhelm von Herrmann :

Heideggers Philosophie der Kunst

.....Tetsuhiro Kato

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan